

初乗り運賃の見直しに係る実証実験について

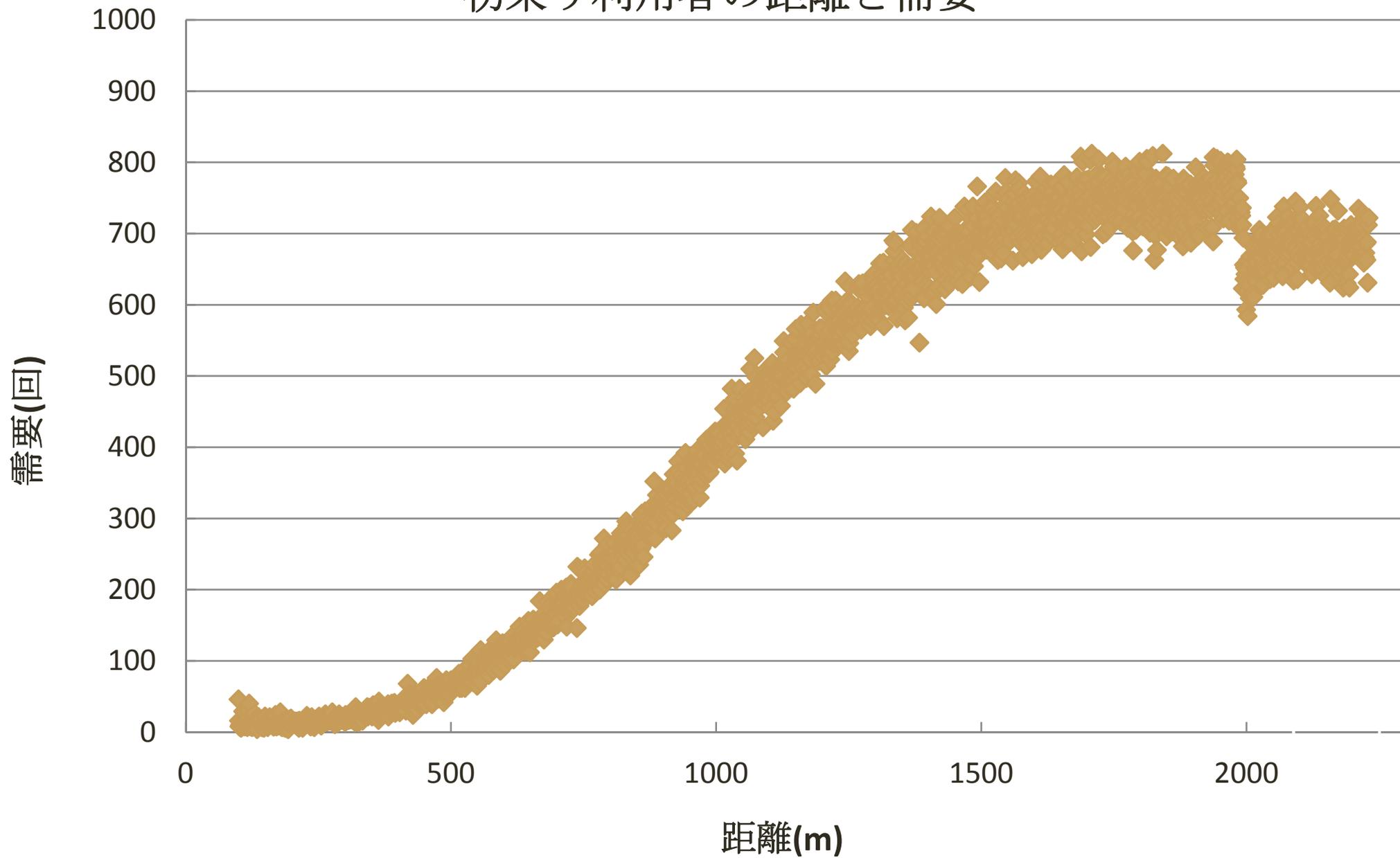
実施方法

- 事業者から初乗り運賃に関する輸送実績を収集し、当該データを基に、初乗り運賃を見直した場合の効果・課題等について分析を行う。
- その他、導入促進に当たっての「見直し後の初乗り運賃」を利用した者等に対するアンケート調査を実施し、利用者ニーズの把握を行う。

目的

- 平成28年度において、初乗り運賃の見直し（初乗り距離の短縮に伴う初乗り運賃の引き下げ）を試験的に導入し、タクシーによる短距離移動の潜在需要顕在化等の効果を検証するとともに、本格導入に向けた課題を抽出する。

初乗り利用者の距離と需要



主な意見（概要）

- 実証実験は、地方部よりも、短距離移動の潜在需要がより高いと考えられる都市部で行うべき。
- 利用者が、見直し後運賃を適用したタクシーを選択できる環境でなければ、運賃見直しによる需要創出の効果が表れないのではないかと。
- 見直し後運賃の適用タクシーを集中的に配車するため、実験場所は、一部の区域や乗車場所に限定するのが良いのではないかと。
- 実験期間としては、2～3ヶ月とするのが良いのではないかと。
- 実証実験の効果を上げるため、利用者への周知方法を検討することは非常に重要。
- 実証実験では、ドライバーの収入補償も考える必要があるのではないかと。

実証実験の内容（案）

時期

- 平成28年7月～8月の約2ヶ月間

地域

- 東京をはじめとする都市部において、地域又は乗り場を限定して実施。
（乗り場設置の例：鉄道駅、繁華街、スーパー等、実証実験の効果が現れやすい場所を拠点に実施）

※実験地域の詳細は、実験への協力事業者、実施場所に応じて決定

台数

- 未定（数十台～1000台？）
※参加台数が少数の場合には、広報を図る観点から、実証実験に参加する車両について実験参加車両と認識しやすいような表示（ラッピング）を行う。

調査項目

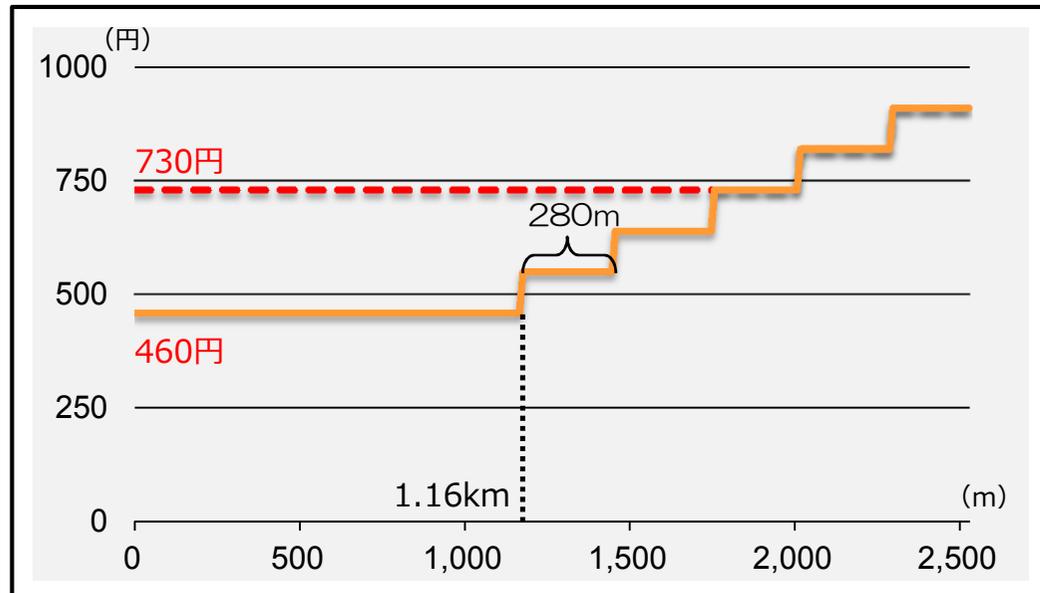
- (1) 輸送実績の分析による潜在需要掘り起こしの効果検証
- (2) アンケート調査による利用者の意向把握

運賃

- 実証実験における運賃については、以下の内容で実施することとする。

初乗運賃：460円（1.160km）、加算運賃90円（280m）

※現行運賃より、加算運賃・加算距離を3回分短縮した運賃



※ただし、実証実験に参加する事業者の意向を踏まえ、実証実験の運賃を変更する可能性がある。

スケジュール

- 平成28年6月頃 : 実証実験参加事業者の募集
- 平成28年7月頃 : 実証実験開始 (~8月頃)
- 平成28年9月頃 : 結果取りまとめ